

それってどうなの??

核のゴミのこと
少し 知ってみませんか?

日時：2019年10月26日（土） 9:30~11:30
(9:00 開場)

場所： 栃木グランドホテル 会議室

栃木県栃木市万町 6-11 （栃木市役所東南）

＜事前申込要（下記連絡先 先着） 定員 20 名 入場無料＞

福島第一の事故を境に原子力施設の中には大量の核のゴミがあることも原子炉に寿命があることも一般に認識されるようになりました。事故で燃料は溶け、壊れてしまった原子炉、大量の汚染水や汚染されたがれき・土壌というとてつもない廃棄物が出現。震災前によく道ができつつあった医療や工業・研究用の放射性廃棄物さえも行方が定まりません。そして、たとえ原子炉を止めても既に様々な核のゴミがたくさん。

10月26日は原子力の日でもあり、反原子力の日でもあります。

栃木県には原子力関連施設や研究所がなく、なかなか放射線について知る場がない地域です。原子力発電所からは遠く離れていても、気づかぬ間に使い続けた電気のゴミのこと少し知ってみませんか？

推進・反対に関わる資料展示や、気が遠くなる程放射能が減らないごく一部の物質を何とか消せないか考え続ける人のお話もあります。

～少人数でおしゃべりしながら疑問を口にしてみよう～

連絡先：ここぱふ 岩田 naomi<at>kokopaf.com <at>を@に変えてください

中3の冬、チェルノブイリ事故の年に資源確保・環境保全と核廃絶を強く思い始めました。まずは学区内の進学では女子の理系進学が期待できず栃木女子高へ。それでもあきらめかけた頃栃女OGとの出会いをきっかけに核兵器削減や超長半減期の核のゴミの後始末を考える仕事にも少しだけ関わりました。今後は <https://kokopaf.com> に情報をアップする予定です。

いまここで これまでとこれからを見つめ 未来の命へやさしいいっぽを☆

Let's think about Past and Future, then let's take concrete heartfelt action.